

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	総合演習Ⅳ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	専任教員	実務経験と その関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			
《授業科目における学習内容》						
国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。						
《成績評価の方法と基準》						
模擬試験(国家試験形式)100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題 クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題) 国試の達人 各分野の関連教科書など						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題の解説作り。 頻出問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張らましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学 分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	精神医学			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学 分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	精神医学②			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科 学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	精神医学③			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科 学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	精神医学④			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリ テーション概論分野の確認 (30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	精神医学⑤			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神医学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	精神医学⑥		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学②		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学③		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学④		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学⑤		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	整形外科学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	整形外科学⑥		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論②		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション概論③		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習Ⅳ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担 当 教 員	専任教員	実務経験と その関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			
《授業科目における学習内容》						
国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。						
《成績評価の方法と基準》						
模擬試験(国家試験形式)100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題 クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題) 国試の達人 各分野の関連教科書など						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題の解説作り。 頻出問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張らましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を 理解することができる。		国家試験過去問 題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学 分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
	各コマに おける 授業予定	リハビリテーション概論④				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を 理解することができる。		国家試験過去問 題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学 分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
	各コマに おける 授業予定	リハビリテーション概論⑤				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	国際生活機能分類(ICF)、感染症関連などの国家試験問題を 理解することができる。		国家試験過去問 題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科 学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
	各コマに おける 授業予定	リハビリテーション概論⑥				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。		国家試験過去問 題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科 学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
	各コマに おける 授業予定	生体力学				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。		国家試験過去問 題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリ テーション概論分野の確認 (30分) 事後学習 解説作り(30分)	
	各コマに おける 授業予定	生体力学②				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学③		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学④		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学⑤		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	生体力学分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	生体力学⑥		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法②		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法③		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法④		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法⑤		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	運動療法⑥		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	総合演習Ⅳ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	270 (9) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担 当 教 員	専任教員	実務経験と その関連資格	理学療法士免許取得に向けた過程の中での国家試験対策としての学習経験あり			
《授業科目における学習内容》						
国家試験に向けての各学生の課題分析と対策を行い、模擬試験の実施を通して実践力を高めることができる。						
《成績評価の方法と基準》						
模擬試験(国家試験形式)100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
国家試験過去問題 クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説(共通問題)(専門問題) 国試の達人 各分野の関連教科書など						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題の解説作り。 頻出問題の反復学習。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験問題をしっかりと理解し、国家試験に合格できるように頑張らましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 31 回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学 分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	物理療法			
第 32 回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの精神医学 分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	物理療法②			
第 33 回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科 学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	物理療法③			
第 34 回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの整形外科 学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	物理療法④			
第 35 回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリ テーション概論分野の確認 (30分) 事後学習 解説作り(30分)	
		各コマにおける授業予定	物理療法⑤			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	物理療法分野の国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストのリハビリテーション概論分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	物理療法⑥		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの生体力学分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法②		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法③		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの運動療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法④		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法⑤		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	各種検査・測定についての国家試験問題を理解することができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの物理療法分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	理学療法評価法⑥		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 指定テキストの理学療法評価分野の確認(30分) 事後学習 解説作り(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験②		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題の理解を深めることができる。	国家試験過去問題 指定テキスト 関連教科書	事前学習 頻出分野の確認(30分) 事後学習 模試の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	模擬試験③		